

## 化学放射線療法施行患者における G-CSF 製剤投与後の 血小板減少発現率の照射野別比較に関する調査

### 1. 研究の対象

2014年1月～2018年7月までに、当院でプラチナ製剤を含む CRT による治療を受けられた肺がんの方。

### 2. 研究目的・方法

#### 1)研究目的

G-CSF 適正使用ガイドラインでは、化学放射線療法(CRT)施行時、特に縦隔領域が照射野に含まれる場合は、血小板減少の危険性が高まるため G-CSF 製剤を投与することは望ましくないとされています。しかし、縦隔以外の部位へ照射が行われた場合についてはこの毒性に関連する報告は多くありません。そこで、本研究は CRT が施行された肺がん患者を対象に、照射野別間における G-CSF 製剤投与と血小板減少発現との関連を明らかにすることを目的としています。

#### 2)研究方法

当院でプラチナ製剤を含む CRT による治療を受けられた肺がんの方を対象として、血小板減少の発現状況を過去の診療記録をもとに調査します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、プラチナ製剤の治療歴、副作用の発現状況、G-CSF 製剤の使用状況、年齢、性別、カルテ番号放射線治療歴・期間 等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：〒010-8543 秋田県秋田市本道 1-1-1

電話番号：018-884-6309(薬剤部)

研究責任者：秋田大学医学部附属病院 薬剤部 尾関智子

-----以上